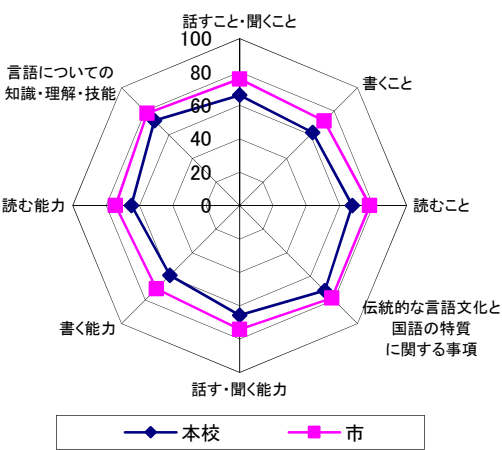


宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	66.2	75.9	71.7
	書くこと	62.1	71.8	73.2
	読むこと	67.5	78.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.2	78.2	79.4
観点別	話す・聞く能力	65.7	74.2	70.8
	書く能力	59.0	70.4	71.0
	読む能力	64.8	74.3	75.0
	言語についての知識・理解・技能	72.1	78.2	79.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

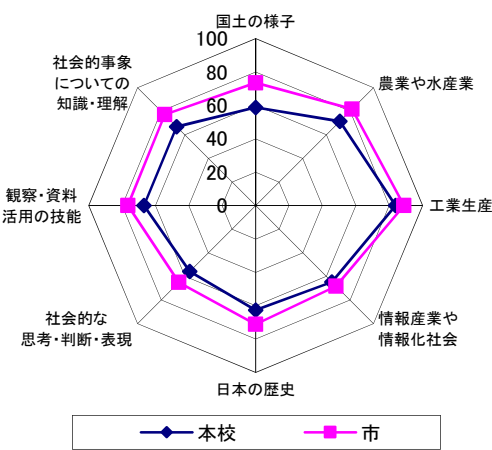
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し手の意図を考えながら、話し合いの内容を聞くことは、ほぼ全児童ができています。 ●話し合いの司会者の役割を理解し、テーマから外れないよう、計画的に話し合う実践力が身に付いていない。	・学習の中で「話す・聞く」力を育てる現在の指導を継続し、学級活動や委員会活動・行事に取り組む際の話し合い活動において、計画的に話し合いを進める実践力を育てていく。
書くこと	○2つのグラフを比較し自分の考えを書く問題では、指定された長さで文章を書くことができた。 ●グラフから読み取った事実を基に、段落構成を工夫し、自分の意見を書く力が不十分であった。 ●話し合いの内容をふまえて、必要な情報を書き足す力が低い。	・情報を正確に読み取る力を着けることと、読み手を意識し、必要なことを分かりやすく文章に表すよう指導していく。 ・国語の時間だけでなく他教科や行事後の感想文など、日常的に書く経験を積み重ね、書く力を育てる。
読むこと	○物語の内容を読み取る問題では、登場人物の心情を表現するための読み方の工夫について理解ができています。 ●説明文を読む際に、段落相互の関係を読み取ったり、内容を的確に読んだりする力が身に付いていない。	・朝の読書の時間や図書に触れる時間を確保し、本に親しむ機会を設けていく。 ・説明文では、段落総合の関係を捉え、筆者の主張を読み取る力を育てる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字の読みについては正解率が高い。書くことについてはまだ定着していない漢字もある。 ●敬語の使い方、文中の主語の理解が不十分だった。	・漢字については、家庭でも繰り返し練習をするよう宿題の出し方を工夫し、ミニテスト等を活用して振り返らせながら指導をする。 ・敬語については、具体的な場面で指導し、定着を図る。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	58.8	73.6	76.2
	農業や水産業	71.5	81.9	77.5
	工業生産	83.8	88.9	83.4
	情報産業や情報化社会	64.6	68.2	61.0
	日本の歴史	62.6	71.1	70.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	55.7	65.1	62.1
	観察・資料活用の技能	66.9	76.5	75.2
	社会的事象についての知識・理解	66.8	77.1	76.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

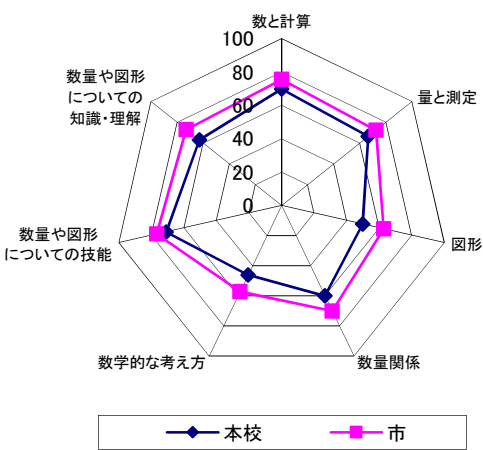
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○日本周辺の海洋名、国名、日本の地形の概要がきちんと知識として身に付いている児童もいる。 ●公害から生活環境を改善する方法について考える問題についての正答率は低かった。	・地図帳を使った学習などを取り入れながら国土に対する関心を高める。また、家庭でも話題となっている社会現象について関心をもってテレビなどの情報を見るように促す。
農業や水産業	○日本の食糧生産についての問題では、稲作に従事している人々の食の安全確保のための工夫や、米の輸送・販売の費用に関する資料を読み取ることができた。 ●日本の食糧の消費量と生産量を示す資料から、外国からの輸入に結びつけて考える力は低かった。	・資料の読み取りを基に、理由を考えたり自分なりに表現したりする時間を授業の中で意図的に取り入れていく。
工業生産	○様々な工業製品が国民生活を支えていることを理解している。 ●資料を読み取って考え、指定された言葉を使って文章で表現する力は不十分であった。	・資料を基に思考・判断し、文章で表現する学習を、他教科の時間にも意識して指導していく。
情報産業や情報化社会	○情報化した社会について理解し、資料から情報ネットワークと生活とのかかわりを読み取ることができている。	・今後も身の回りの情報について意識させながら指導をしていく。
日本の歴史	○鎌倉時代の元との戦いに関する資料について選択する問題は、市の平均を上回った。縄文～明治初めまでの様子を理解したり、資料を読み取ったりすることはほぼできている。 ●どの時代も複数の資料から共通して読み取ったり、時代背景や時代の特徴を考えたりしたことを表現する力は低い。	・それぞれの時代の主要な出来事を押え、資料から読み取ったことを分析し、表現する活動を取り入れ、内容の定着を図る。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	69.8	75.6	75.8
	量と測定	66.4	72.5	71.2
	図形	49.8	62.8	71.0
	数量関係	60.0	70.1	66.0
観点別	数学的な考え方	46.2	57.2	52.7
	数量や図形についての技能	70.9	76.7	74.1
	数量や図形についての知識・理解	63.0	73.0	77.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

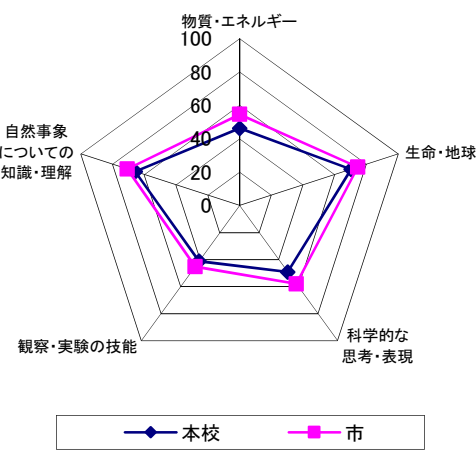
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○平均正答率は市の平均を下回っているが、簡単な分数や小数の計算はほぼ理解できている。 ●文章問題にあった図を選ぶことはできるが、正しく分数の式を立てることができない。	・計算問題などは、今後も継続して反復練習を積み重ねていく。また、少人数指導、家庭学習での指導を継続し、定着を図る。
量と測定	○6年で学習した時速や円柱の体積を求める式を4つの選択肢の中から選ぶことはできている。 ●時速を求めることはできるが、時速を分速に直す単位換算の計算の理解は低い。	・面積や体積、単位量当たりの大きさ、速さについては、公式を忘れてしまう児童が多いので、繰り返し復習させ定着させる。
図形	○合同な三角形を作図することは概ねできている。 ●都道府県のマークの中から線対称な形を選んだり、円の直径から円周を求めたりする正答率は低い。	・図形については、図画工作時間にも意図的に取り入れたり、折り紙を扱ったりさせるなど具体操作を行う活動を通して、感覚を養っていく。
数量関係	○比例・反比例の関係を表に表したり、xとyを使って式に表すことができる。 ●割合と比についての正答率が低い。	・割合の問題に対する苦手意識が高い。今後は、問題を解くときには、およその大きさを見積もることや、場面を的確に捉えるために簡単な場合で考えたり、図をかいたりすることを身に付けさせる。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	46.4	54.6	57.5
	生命・地球	70.3	74.5	75.4
観点別	科学的な思考・表現	49.2	58.0	59.6
	観察・実験の技能	41.2	45.3	50.6
	自然事象についての知識・理解	65.8	70.7	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○「ふりこのきまり」「物のとけ方」の基礎的な内容は理解できている。 ●「電磁石のはたらき」「水溶液の性質」についての理解が低い。特に実験結果から考察したり、他の実験に生かすことができない。	・体験的に理解を深める指導を心がける。 ・実験にあったっては、予想を立て、結果から考察するという学習の仕方を定着させ、科学的な思考力を養っていく。
生命・地球	○メダカの誕生についての理解ができており、孵化したばかりのメダカが、2～3日どのようにして育つかについての正答率は市の平均よりも高い。 ●人の体のつくりは概ね理解ができているが、働きについての理解は不十分であった。	・日常生活と関連させながら、興味・関心を高めていく。 ・映像資料などを活用して、視覚的にも理解できるようにする。